

働しているほか、熊石平田内川における小水力発電施設が令和6年8月に稼働する予定となっており、持続可能なまちづくりのため、有効な地域振興策となるよう、民間活力の活用や連携による再生可能エネルギーの導入を促進してまいります。

また、檜山沿岸における洋上風力発電事業については、昨年5月に再エネ海域利用法に基づく促進区域の指定に向けて、新たに有望な区域として檜山沖が位置付けられました。本年1月には法定協議会が設置され、促進区域の指定に向けて具体的な検討が始まったことから、檜山沖協議会の構成員ならびに関係自治体、関係機関とも連携し推進してまいります。

3. 誰もがいきいき暮らせる健康・医療・福祉の推進

(1) 健康づくりの促進

町民一人ひとりが健康であることの喜びを実感し、心豊かな生活を送ることができるよう、病気の早期発見・早期

治療を目的に特定健診や各種がん検診の受診勧奨を行うとともに、受診しやすい健診体制の確保に努め、受診率の向上を図ってまいります。

また、町民が自分の健康に関心を持ち、健康づくりや生活習慣病の改善に向けて取り組めるよう、健康イベントや健康づくり教室等、各種保健事業を通して健康づくりに関する知識の普及啓発に取り組みでまいります。

さらに、高齢者が身体的、精神的活動性を維持し、いつまでも生きがいのある生活を送ることができるよう、通いの場等におけるフレイル予防教室の実施に努めてまいります。

(2) 医療体制の充実

八雲総合病院では、常勤医師の確保に苦慮しており、特に内科常勤医師の不足から非常に厳しい経営環境が続いております。引き続き医師確保を最優先課題として対応してまいります。

また、慢性的に不足する看護師をはじめとする医療従事者の確保についても、各方面

への人材募集等の働きかけにより充足を図ってまいります。今後とも地域センター病院として町民の皆さまを安心して、地域の皆さまに安心して受診していただける病院づくりを、院長とともに私が先頭に立ち、職員一丸となって進めてまいります。

熊石国保病院は、住民が安心して医療の提供を受けられるよう診療体制を堅持し、高齢化社会に対応した地域医療の充実と安定経営に努め、地域のかかりつけ病院としての役割を果たしてまいります。

新病院の建設工事は、令和5年度の着工を経て令和7年6月の開院を目指しているところであり、令和6年度においても引き続き建替事業を進めてまいります。

(3) 地域福祉の促進

人口の減少と少子高齢化が進行する中で、いつまでも住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしていくためには、地域の住民同士がお互いを思いやり支え合っていくことが益々重要となることから、各町内会や、民生委員協議会等

関係団体と連携を図りながら、声掛けや見守り活動等が推進されるよう支援してまいります。

また、引き続き社会福祉協議会と連携を図り、ボランティア団体の各種活動や相談、人材確保への支援に努めてまいります。

(4) 高齢者福祉の推進

八雲町の高齢者人口は、減少に転じておりますが、高齢化率は36%を超えており、今後も高齢化の進展が見込まれます。

また、団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者となる令和7年度には、後期高齢者が3,000人を超え、総人口に占める後期高齢者比率は21%を超えると予測される中、令和5年度に「八雲町高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定し、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して健やかに暮らし続けられる地域社会を目指し、地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進に取り組んでまいります。

平成30年度から開始した生

活支援体制整備事業については、要介護状態となることのできる限り予防するため、住民主体の通いの場の定着支援などを実施してきましたが、令和6年度より高齢者の社会参加と地域での支え合いの取り組みをさらに進めるため、社会福祉協議会に事業を委託し、有償ボランティアの創出に向けた検討を行ってまいります。

また、認知症高齢者の徘徊は、生命に関わる問題であり、早期に発見して保護することが重要であることから、登録者の衣服等に付けられた二次元コードの読み取りにより早期発見につながるサービスを導入し、その周知を図ってまいります。

(5) 子ども・子育て支援の強化

令和6年度は、第2期子ども・子育て支援計画の最終年度に当たり、引き続き計画に基づいて事業を展開していくとともに、第3期(令和7年度・令和11年度)策定に向けて準備を進めてまいります。

子育てに関する相談窓口で